

1.需給動向

1-1.世界の需給動向

ゲルマニウムの主な用途は、PET(ポリエチレンテレフタレート)樹脂を製造する際に使用される重合触媒、光ファイバーへの添加剤(光ファイバードープ材)、赤外線サーモグラフィや熱線暗視装置に使用されるゲルマニウムレンズである。その他、半導体材料、光ディスク用ターゲット材、太陽電池パネル等にも用いられている。

世界の精製ゲルマニウムの生産量を表 1-1、図 1-1 に示す。2014 年の生産量は前年比 106%の 165t であり、中国の生産量が前年比 109%の 120t と増加した。中国では、品質保証及び供給の安定性に強みを持つ大手生産者への資源集約が進んでいる。中国でゲルマニウム生産が一番多い地域は雲南省で全体の約 60%を占めるとされている。

上記統計値には含まれていないが、中国に次ぐ生産量があるのはカナダで、数量的には世界生産量の 30%程度とされている。

表 1-1 世界の精製ゲルマニウムの生産量

単位: 純分t

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	14/13比	構成比
中国	—	—	—	100	80	80	80	90	110	120	109%	73%
ロシア	—	—	—	5	5	5	5	5	5	5	100%	3%
米国	5	5	5	5	5	3	3	3	—	—	—	—
その他	86	86	95	30	30	30	30	30	40	40	100%	24%
合計	90	90	100	140	120	118	118	128	155	165	106%	100%

出典: United States Geological Survey「Mineral Commodity Summaries Germanium」World Refinery Production

※数値は亜鉛精鉱、石炭灰、リサイクル材から回収されたゲルマニウムを含む金属・化合物ゲルマニウム量

※2013年、2014年の合計値に米国の生産量は含まれていない。

※2007年以前の中国、ロシアの生産量はその他に一括されており、詳細は不明。

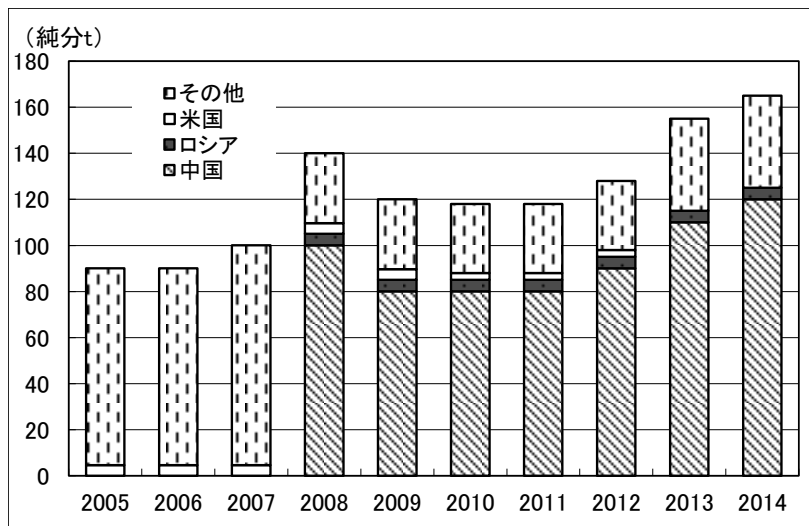


図 1-1 世界の精製ゲルマニウムの生産量

1-2.国内の需給動向

ゲルマニウムの国内生産量は統計が存在しないため不明であるが、国内のゲルマニウムの主要用途は PET 用重合触媒と光ファイバードープ材の 2 つである。

表 1-2 にボトル用 PET 樹脂及びゲルマニウム触媒需要量を、表 1-3 に光ファイバーケーブルの生産量及びゲルマニウムドープ材需要量を示す。PET 用重合触媒には二酸化ゲルマニウムが、光ファイバードー

プ材には四塩化ゲルマニウムが使用されている。少量を純シリカガラスに加えると屈折率が上がるので、光吸収とシグナルロスを防ぐことができる。

2014年のPET樹脂生産量は前年比100%の653千tであった。ボトル用PET樹脂の需要は、ここ数年600千t前後で推移している。表1-2のゲルマニウム触媒需要量はPET樹脂生産量に対してゲルマニウム触媒を0.00516%添加した場合の推計値となっており、ゲルマニウム触媒需要量も30t前後で推移している。ただし、実際はPET樹脂用の二酸化ゲルマニウム系触媒は、PETボトルの薄肉化による使用量減少や、相場高騰で、需要が減少傾向にある。

もう一つのゲルマニウムの主要需要先である光ファイバードープ材向けに四塩化ゲルマニウムが使用される。2014年の光ファイバー製品の国内生産量は前年比105%の40.2百万kmであった。これを元にゲルマニウムドープ材の需要量を前年比105%の22tと推計した。

金属ゲルマニウムは100%が輸入品であり、主要用途は半導体ウエハ用材料及びターゲット材料である。

表 1-2 ボトル用PET樹脂及びゲルマニウム触媒需要量(推計値)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	14/13比
ボトル用PET樹脂需要量(千t) ¹⁾	571	577	599	602	593	601	583	610	654	653	100%
ゲルマニウム触媒需要(t) ²⁾	29	30	31	31	31	31	30	31	34	34	99%
ゲルマニウム触媒需要(純分t)	20	21	21	22	21	21	21	22	23	23	102%

※出典:1)PETボトルリサイクル推進協議会「ボトル用PET樹脂需要実績推移」、2)推計値。

表 1-3 光ファイバー製品生産量とGeドープ材需要量(推計値)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	14/13比
光ファイバー製品生産(百万km) ¹⁾	21.2	26.9	29.8	34.4	34.4	34.5	34.8	44.6	38.4	40.2	105%
ゲルマニウムドープ材(t) ²⁾	11.6	14.7	16.4	18.8	18.9	18.9	19.1	24.5	21.0	22.0	105%
②ゲルマニウムドープ材(純分t) ³⁾	3.9	5.0	5.5	6.4	6.4	6.4	6.5	8.3	7.1	7.5	105%

※出典:1)経済産業省「鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計」、2)推計

3)触媒を四塩化ゲルマニウムと仮定し純分換算率33.9%で計算。

2.輸出入動向

2-1.輸出入動向

表2-1、図2-1にゲルマニウムの輸入量を示す。ゲルマニウムの輸出コードが「塊・粉・くず(金属ゲルマニウム)」及び「製品その他」がバナジウム、ガリウム、ハフニウム、インジウム、ニオブ、レニウムとの合計であり、二酸化ゲルマニウムも二酸化ジルコニウムとの合計であることから、輸入量のみで図表を作成した。

2014年のゲルマニウム輸入量は前年比74%の14.4tと減少し、二酸化ゲルマニウムの輸入量は前年比79%の10.2tであった。二酸化ゲルマニウムは3Nレベルのものが輸入されている。

表 2-1 ゲルマニウムの供給(輸入量)

		単位:純分t										
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	14/13比
素材	塊・粉・くず(金属ゲルマニウム)	0.52	—	18.24	6.41	8.10	8.12	5.38	4.53	5.39	3.82	71%
	二酸化ゲルマニウム	27.3	29.8	32.7	21.6	16.0	11.7	17.1	19.8	12.9	10.2	79%
	小計	27.8	29.8	51.0	28.0	24.1	19.8	22.5	24.3	18.3	14.0	76%
製品	製品、その他	21.03	68.91	14.30	5.60	1.98	2.99	0.95	0.47	1.26	0.46	36%
	合計	48.8	98.7	65.3	33.6	26.0	22.8	23.4	24.8	19.5	14.4	74%

出典:財務省 貿易統計

純分換算率(2011年以前):塊・粉・くず(金属ゲルマニウム)100%、二酸化ゲルマニウム68%、製品100%

純分換算率(2012年以降):塊・粉・くず(金属ゲルマニウム)100%、二酸化ゲルマニウム69.4%、製品100%

※素材は塊・粉・くず(金属Ge)、二酸化ゲルマニウム、製品は製品、その他による。

※ゲルマニウムは輸出コードが他の鉱種と混在しており判別不可であるため、輸入のみで図表作成。

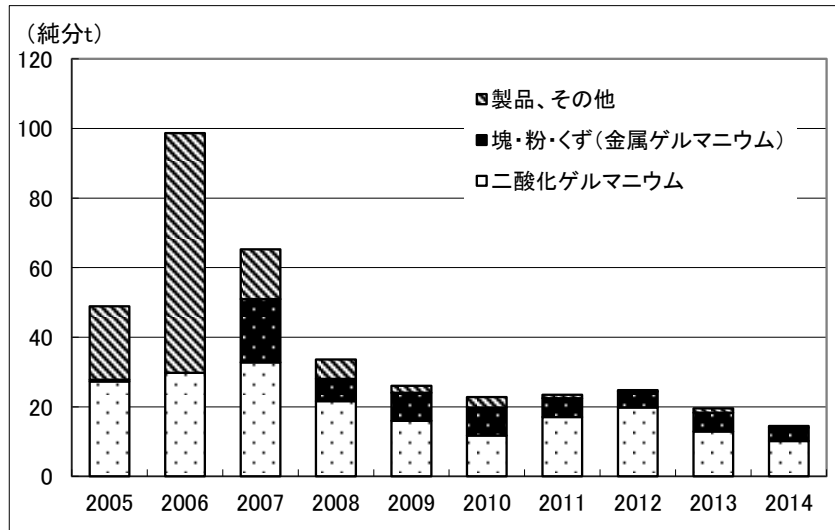


図 2-1 ゲルマニウムの供給(輸入量)

2-2.輸出入相手国

2-2-1.二酸化ゲルマニウム

二酸化ゲルマニウムの輸入相手国を表 2-2、図 2-2 に示す。2014 年はカナダ、中国の上位 2 ヶ国からの輸入量が全体の 76%を占める。このうち、中国からの輸入量は前年比 44%と半減している。

表 2-2 二酸化ゲルマニウムの輸入相手国

		単位:純分t											14/13比	構成比
		2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014		
輸入	カナダ	3.1	4.8	9.7	13.4	14.5	13.0	7.7	9.0	11.6	8.1	6.5	80%	64%
	中国	12.7	16.4	16.3	16.2	4.9	1.9	3.5	6.1	5.6	2.7	1.2	44%	12%
	ラオス	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.3	—	1.0	—	10%
	米国	0.24	—	0.10	—	0.51	—	0.07	1.04	0.76	0.92	0.81	88%	8%
	ロシア	1.08	0.24	1.33	2.19	1.63	1.12	0.33	0.80	1.50	1.10	0.62	56%	6%
	その他	10.5	5.8	2.4	0.9	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.1	—	—
合計		27.6	27.3	29.8	32.7	21.6	16.0	11.7	17.1	19.8	12.9	10.2	79%	100%

出典:財務省 貿易統計

純分換算率(2011年以前):二酸化ゲルマニウム68%

純分換算率(2012年以降):二酸化ゲルマニウム69.4%

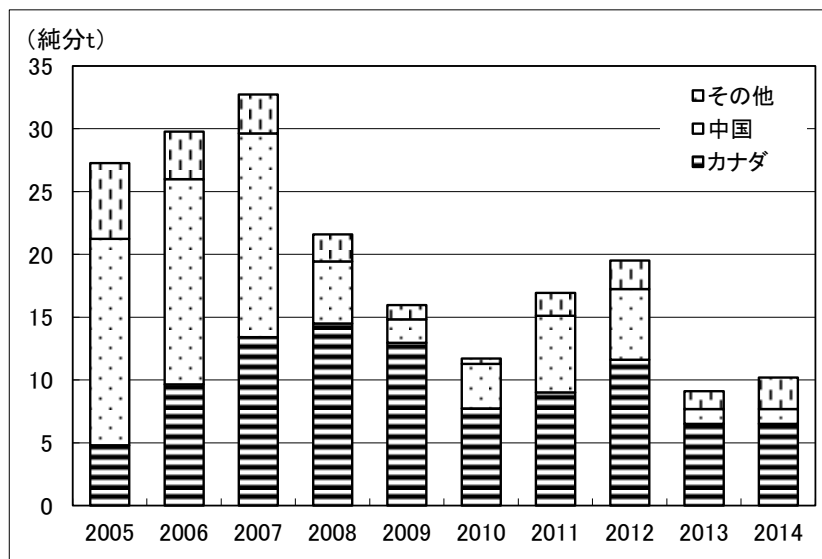


図 2-2 二酸化ゲルマニウムの輸入相手国

2-2-2.塊・粉・くず(金属ゲルマニウム)

塊・粉・くず(金属ゲルマニウム)の輸入相手国を表 2-3、図 2-3 に示す。主要な輸入相手国は中国であり、全輸入量の 60%を占めている。金属ゲルマニウムはレンズメーカーがゲルマニウムレンズの原料として輸入している。

表 2-3 塊・粉・くず(金属ゲルマニウム)の輸入相手国

単位:純分t

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	14/13比	構成比	
輸入	中国	0.52	—	7.81	5.76	7.36	7.73	3.10	2.49	3.06	2.29	75%	60%
	米国	—	—	0.15	0.54	0.12	0.15	0.58	0.95	0.81	0.67	83%	18%
	ラオス	—	—	—	—	—	—	0.56	0.40	1.10	0.30	27%	8%
	ロシア	—	—	0.05	—	—	0.01	0.17	0.29	0.15	0.26	171%	7%
	ベルギー	—	—	0.06	0.06	0.07	0.10	0.56	0.36	0.05	0.14	272%	4%
	英国	—	—	0.02	0.02	—	0.03	0.05	0.00	0.08	0.13	160%	3%
	ドイツ	—	—	0.02	0.01	0.00	0.10	0.27	0.04	0.14	0.04	30%	1%
	その他	0.00	0.00	10.14	0.02	0.55	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0%	0%
	合計	0.5	—	18.2	6.4	8.1	8.1	5.4	4.5	5.4	3.8	84%	100%

出典:財務省 貿易統計
純分換算率:塊・粉・くず100%

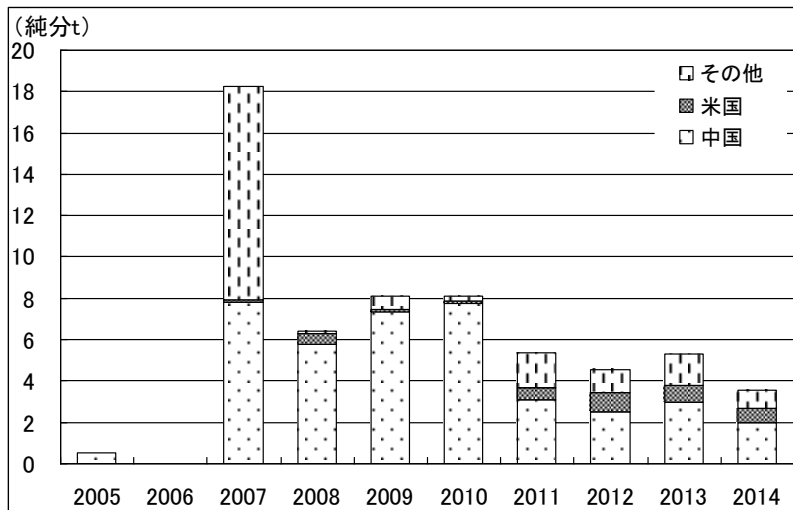


図 2-3 塊・粉・くず(金属ゲルマニウム)の輸入相手国

2-3.輸出入価格

ゲルマニウムの輸入価格を表 2-4、図 2-4 に示す。2010 年～2011 年にかけて、二酸化ゲルマニウム、塊・くず・粉ともに輸入価格が大幅に上昇している。2012 年は一旦低下しているが、2013 年は再び上昇となっている。これは、中国による買い占めや国家備蓄が影響しているとみられる。

2014 年は塊・くず・粉は若干上昇し、二酸化ゲルマニウムは若干低下したが、大きな価格変動はなかった。

表 2-4 ゲルマニウムの平均輸入価格

単位:\$/kg

素材	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	14/13比
塊・粉・くず(金属ゲルマニウム)	794	—	378	1,254	946	778	1,637	1,460	1,845	1,940	105%
二酸化ゲルマニウム	403	509	738	985	743	583	1,201	1,149	1,313	1,255	96%

出典:財務省 貿易統計
※輸出入価格は貿易統計の貿易額を財務省による年間平均為替レートにより米ドルベースに換算し、年間平均価格を示した。

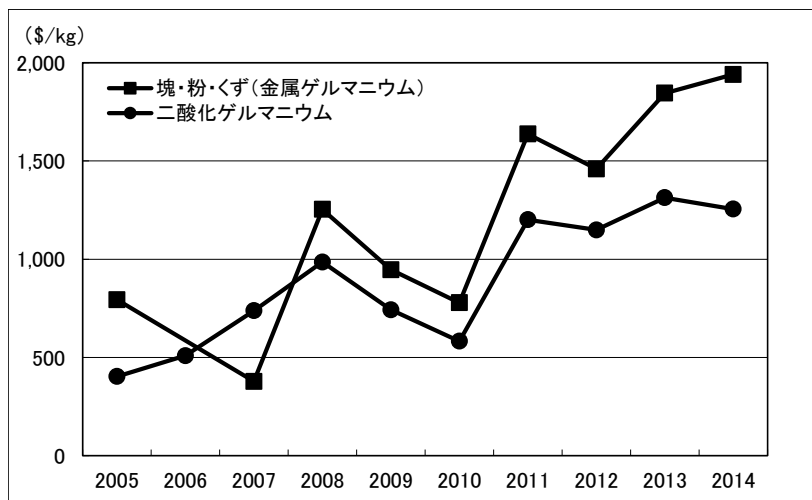


図 2-4 ゲルマニウムの平均輸入価格

3.リサイクル

ゲルマニウムのリサイクル率は以下の定義により推計すると、0%である。ただし、レンズ等の製造工程中に出るくずは再利用されている。

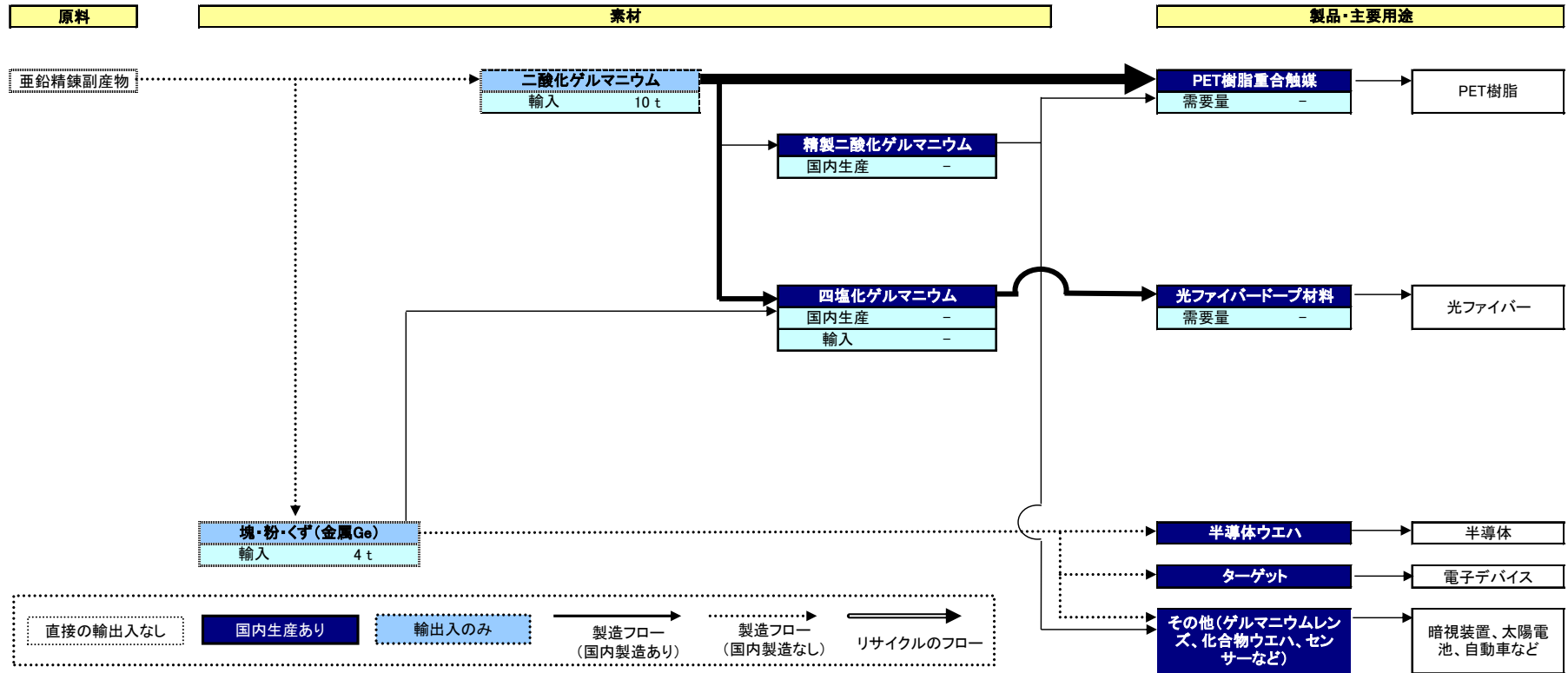
リサイクル率	$= (\text{使用済み製品からのリサイクル量}) / (\text{見掛消費})$
見掛消費量	$= (\text{国内発生量}) + (\text{素材・製品の輸入量}) - (\text{素材・製品の輸出量})$

※素材は塊・粉・くず(金属 Ge)、二酸化 Ge、製品は製品・その他の合計値。

※ゲルマニウムの輸出数量を把握できないため、輸入数量のみ記載

4.マテリアルフロー

ゲルマニウムのマテリアルフロー(2014)



純分換算率: 二酸化ゲルマニウム69.4%、四塩化ゲルマニウム33.9%、塊・粉・くず100%

※製品の需要量=国内で生産、または国内に輸入された原料、素材の需要量であり、製品の輸出入量は考慮していない。